

当ファンドの仕組みは次の通りです。

商品分類	追加型投信／国内／株式	
信託期間	無期限（2014年8月8日設定）	
運用方針	イーストスプリング日本中小型株式マザーファンド受益証券への投資を通じて、主としてわが国の金融商品取引所に上場されている（上場予定を含みます。）中小型株に投資を行い、中長期的な信託財産の成長を目指した運用を行います。	
主要投資対象	イーストスプリング・ジャパン中小型厳選バリュー株ファンド	イーストスプリング日本中小型株式マザーファンド受益証券を主要投資対象とします。
	イーストスプリング日本中小型株式マザーファンド	わが国の金融商品取引所に上場されている（上場予定を含みます。）中小型株を主要投資対象とします。
組入制限	イーストスプリング・ジャパン中小型厳選バリュー株ファンド	<ul style="list-style-type: none">・株式への実質投資割合には、制限を設けません。・同一銘柄の株式への実質投資割合は、信託財産の純資産総額の10%以内とします。・外貨建資産への投資は、行いません。
	イーストスプリング日本中小型株式マザーファンド	<ul style="list-style-type: none">・株式への投資割合には、制限を設けません。・同一銘柄の株式への投資割合は、信託財産の純資産総額の10%以内とします。・外貨建資産への投資は、行いません。
分配方針	毎決算時（毎年7月27日。休業日の場合は翌営業日。）に、委託会社が基準価額水準、市況動向等を勘案して分配金額を決定します。分配対象額が少額の場合は、分配を行わないことがあります。	

運用報告書（全体版）

イーストスプリング・ ジャパン中小型厳選 バリュー株ファンド

第10期（決算日 2024年7月29日）

受益者のみなさまへ

平素は格別のお引立てにあずかり厚くお礼申し上げます。

さて、「イーストスプリング・ジャパン中小型厳選バリュー株ファンド」は、上記の決算を行いましたので、ここに期中の運用状況をご報告申し上げます。

今後とも一層のご愛顧を賜りますよう、お願い申し上げます。

イーストスプリング・インベストメンツ株式会社

〔お問い合わせ先〕

電話番号：03-5224-3400

（受付時間は営業日の午前9時から午後5時まで）

ホームページアドレス：<https://www.eastspring.co.jp/>

〒100-6905

東京都千代田区丸の内2-6-1丸の内パークビルディング

○最近5期の運用実績

決算期	基準価額 (分配落)	準 価 額			株組入比率	式率	純資産額
		税分	込配	み騰落 期中騰落			
	円		円		%		百万円
6期(2020年7月27日)	11,777		0	△11.9	99.0		2,463
7期(2021年7月27日)	17,436		0	48.1	98.8		3,100
8期(2022年7月27日)	18,046		0	3.5	98.3		2,834
9期(2023年7月27日)	22,499		200	25.8	99.1		3,055
10期(2024年7月29日)	28,116		200	25.9	98.3		24,150

(注) 基準価額の騰落率は分配金込みです。

(注) 純資産総額の単位未満は切捨てです。

(注) 当ファンドはマザーファンドを組み入れますので、株式組入比率は実質比率を記載しております。

(注) 当ファンドは公表されている適切な指数が存在しないためベンチマークおよび参考指数を設けておりません。

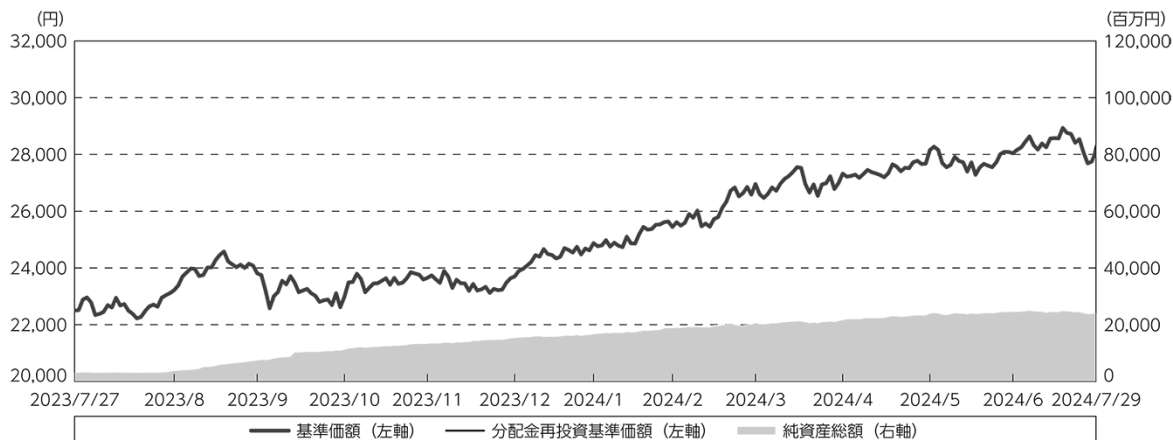
○当期中の基準価額等の推移

年 月 日	基準	準 価 額		株組入比率	式率
		騰	落率		
(期首) 2023年7月27日	円		%		%
	22,499		—		99.1
7月末	22,886		1.7		98.8
8月末	23,218		3.2		98.4
9月末	23,811		5.8		97.4
10月末	22,986		2.2		98.2
11月末	23,652		5.1		98.5
12月末	23,701		5.3		99.4
2024年1月末	24,875		10.6		98.5
2月末	25,445		13.1		98.9
3月末	26,958		19.8		97.7
4月末	27,323		21.4		97.7
5月末	28,155		25.1		98.6
6月末	28,043		24.6		98.4
(期末) 2024年7月29日	28,316		25.9		98.3

(注) 期末基準価額は分配金込み、騰落率は期首比です。

(注) 当ファンドはマザーファンドを組み入れますので、株式組入比率は実質比率を記載しております。

基準価額等の推移について



期首：22,499円
 期末：28,116円 (既払分配金(税込み)：200円)
 騰落率： 25.9% (分配金再投資ベース)

- (注) 分配金再投資基準価額は、分配金(税込み)を分配時に再投資したものとみなして計算したもので、ファンド運用の実質的なパフォーマンスを示すものです。
- (注) 分配金を再投資するかどうかについてはお客様がご利用のコースにより異なります。また、ファンドの購入価額により課税条件も異なります。したがって、お客様の損益の状況を示すものではありません。
- (注) 分配金再投資基準価額は、期首(2023年7月27日)の値が基準価額と同一となるように指数化しております。
- (注) 上記騰落率は、小数点以下第2位を四捨五入して表示しております。
- (注) 当ファンドにおいては、運用の基本方針に適合した、公表されている指数が存在しないため、ベンチマークおよび参考指数を設けておりません。

基準価額の主な変動要因

当期の基準価額は上昇しました。

(上昇要因)

- ・保有する株式の価格が上昇したこと。

投資環境について

日本株式市場

期初から米国の利下げ開始時期に対する市場の思惑が株価の動向に影響を及ぼし、2023年末までレンジ内で推移しました。2024年の年初には米国株高や円安進行、3月には春闘での賃上げ実現、日銀がマイナス金利解除を発表したことで日本のデフレ脱却期待が高まり株価は上昇基調となりました。

ポートフォリオについて

当ファンド

イーストスプリング日本中小型株式マザーファンド受益証券への投資を通じて、主として日本の中小型株に投資を行いました。

イーストスプリング日本中小型株式マザーファンド

主として日本の中小型株に投資を行い、中長期的な値上がり益の獲得を目指しました。

当期中の投資行動は、株価の変動による割安度の変化などを考慮して、インターアクションや山九などの株式を新たに組み入れました。一方で、クレディセゾンやマツダなどの株式を全売却しました。

パフォーマンスは、明電舎やめぶきフィナンシャルグループなどの保有がプラスに寄与しました。

ベンチマークとの差異について

当ファンドの運用の基本方針に適合した、公表されている指標が存在しないため、ベンチマークおよび参考指数を設けておりません。

分配金について

分配金額は、基準価額水準・市況動向等を勘案して、以下の通りとさせていただきます。なお、留保益の運用につきましては、特に制限を設けず、元本部分と同一の運用を行います。

○分配原資の内訳

(単位：円、1万口当たり、税込み)

項 目	第10期
	2023年7月28日～ 2024年7月29日
当期分配金 (対基準価額比率)	200 0.706%
当期の収益	200
当期の収益以外	—
翌期繰越分配対象額	18,116

(注) 対基準価額比率は当期分配金(税込み)の期末基準価額(分配金込み)に対する比率であり、ファンドの収益率とは異なります。

(注) 当期の収益、当期の収益以外は小数点以下切捨てで算出しているため合計が当期分配金と一致しない場合があります。

○今後の運用方針について

当ファンド

引き続きイーストスプリング日本中小型株式マザーファンド受益証券を高位に組み入れることにより、信託財産の成長を図ることを目指します。

イーストスプリング日本中小型株式マザーファンド

これまで市場が短期的な視点やテーマに基づいた行動をとってきたことによって、依然として多くの銘柄の株価は企業の本来の価値を正確に反映していないとみており、長期投資家にとっては投資機会を見出すことが可能だと思われます。当マザーファンドは企業の長期的な収益をけん引するドライバーは何であるかを分析し、さらに現在の株価がどのような懸念を織り込んでいるのかを十分に理解したうえで判断します。市場が短期的な視点で投資行動を起こす中、我々は長期的な観点から企業業績のトレンドに着目していきます。

当マザーファンドのアプローチでは、テーマに基づく市場の選好を追いかけることは避ける一方、割安とみられる銘柄群の中から、バリュエーションに基づく投資機会を見出します。

多くの日本企業は、これまでの非効率な投資を減らし過剰な負債を削減してきた結果、他の先進国並みの収益性や体力を備え、さらに収益率の水準は肩を並べつつあります。また、業績に連動した経営陣の報酬や社外取締役の増加、報酬委員会の導入など、コーポレートガバナンス改革に対する企業側の姿勢が改善している点も着目しています。このように日本企業の経営陣が株主リターンを意識した適切な判断を下すことが世界で勝ち抜ける高い競争力につながると考えています。

○ 1 万口当たりの費用明細

(2023年7月28日～2024年7月29日)

項 目	当 期		項 目 の 概 要
	金 額	比 率	
(a) 信 託 報 酬	440	1.753	(a) 信託報酬＝期中の平均基準価額×信託報酬率
(投 信 会 社)	(229)	(0.912)	委託した資金の運用の対価
(販 売 会 社)	(201)	(0.802)	交付運用報告書等各種書類の送付、口座内でのファンドの管理、購入後の 情報提供等の対価
(受 託 会 社)	(10)	(0.039)	運用財産の管理、投信会社からの指図の実行の対価
(b) 売 買 委 託 手 数 料	44	0.177	(b) 売買委託手数料＝期中の売買委託手数料÷期中の平均受益権口数 ※売買委託手数料は、有価証券等の売買の際、売買仲介人に支払う手数料
(株 式)	(44)	(0.177)	
(c) そ の 他 費 用	5	0.018	(c) その他費用＝期中のその他費用÷期中の平均受益権口数
(監 査 費 用)	(2)	(0.006)	監査法人等に支払うファンドの監査に係る費用
(印 刷)	(3)	(0.012)	目論見書および運用報告書等の法定開示書類の作成費用等
(そ の 他)	(0)	(0.000)	金銭信託に係る手数料等
合 計	489	1.948	
期中の平均基準価額は、25,087円です。			

(注) 期中の費用（消費税等のかかるものは消費税等を含む）は、追加・解約により受益権口数に変動があるため、簡便法により算出した結果です。

(注) 各金額は項目ごとに円未満は四捨五入してあります。

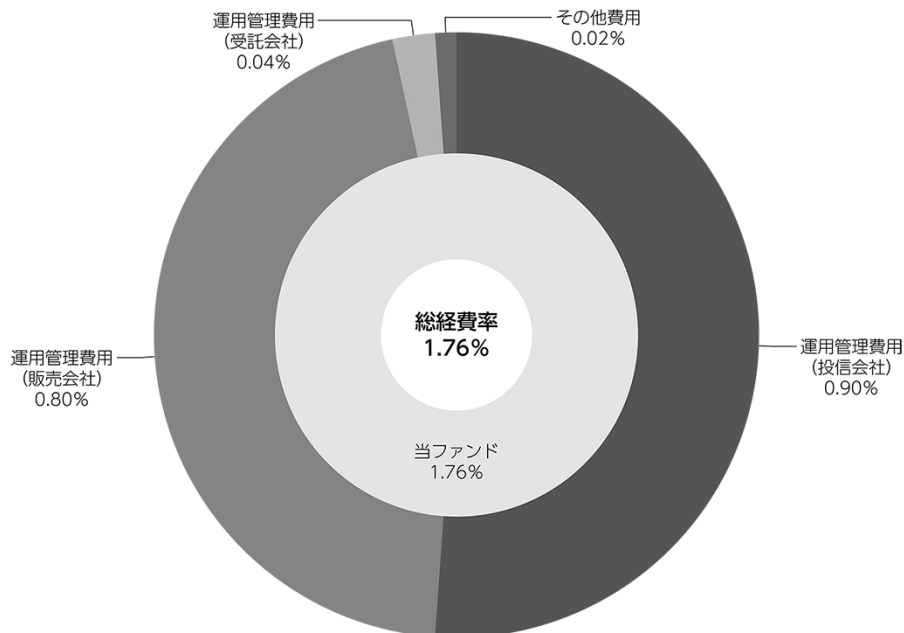
(注) 各比率は1万口当たりのそれぞれの費用金額（円未満の端数を含む）を期中の平均基準価額で除して100を乗じたもので、項目ごとに小数第3位未満は四捨五入してあります。

(注) 売買委託手数料およびその他費用は、当ファンドが組み入れているマザーファンドが支払った金額のうち、当ファンドに対応するものを含みます。

(参考情報)

○総経費率

期中の運用・管理にかかった費用の総額（原則として、募集手数料、売買委託手数料および有価証券取引税を除く。）を期中の平均受益権口数に期中の平均基準価額（1口当たり）を乗じた数で除した総経費率（年率）は1.76%です。



(注) 各費用は、1万口当たりの費用明細において用いた簡便法により算出したものです。

(注) 各費用は、原則として、募集手数料、売買委託手数料および有価証券取引税を含みません。

(注) 各比率は、年率換算した値です。

(注) 当ファンドの費用は、マザーファンドが支払った費用を含みます。

(注) 上記の前提条件で算出したものです。このため、これらの値はあくまでも参考であり、実際に発生した費用の比率とは異なります。

○売買及び取引の状況

(2023年7月28日～2024年7月29日)

親投資信託受益証券の設定、解約状況

銘 柄	設 定		解 約	
	口 数	金 額	口 数	金 額
イーストスプリング日本中小型株式マザーファンド	千口 6,493,617	千円 19,239,000	千口 693,778	千円 2,258,000

(注) 単位未満は切捨てです。

○株式売買比率

(2023年7月28日～2024年7月29日)

株式売買金額の平均組入株式時価総額に対する割合

項 目	当 期	
	イーストスプリング日本中小型株式マザーファンド	
(a) 期中の株式売買金額	36,664,396千円	
(b) 期中の平均組入株式時価総額	14,757,419千円	
(c) 売買高比率 (a) / (b)	2.48	

(注) (b)は各月末現在の組入株式時価総額の平均です。

(注) 単位未満は切捨てです。

○利害関係人との取引状況等

(2023年7月28日～2024年7月29日)

該当事項はございません。

利害関係人とは、投資信託及び投資法人に関する法律第11条第1項に規定される利害関係人です。

○組入資産の明細

(2024年7月29日現在)

親投資信託残高

銘 柄	期首(前期末)	当 期 末	
	口 数	口 数	評 価 額
イーストスプリング日本中小型株式マザーファンド	千口 1,128,379	千口 6,928,218	千円 23,982,722

(注) 単位未満は切捨てです。

(注) マザーファンドの2024年7月29日現在の受益権総口数は、6,928,218千口です。

○投資信託財産の構成

(2024年7月29日現在)

項 目	当 期 末	
	評 価 額	比 率
イーストスプリング日本中小型株式マザーファンド	千円 23,982,722	% 97.5
コール・ローン等、その他	607,166	2.5
投資信託財産総額	24,589,888	100.0

(注) 評価額の単位未満は切捨てです。

○資産、負債、元本及び基準価額の状況 (2024年7月29日現在)

項 目	当 期 末
(A) 資産	円 24,589,888,110
コール・ローン等	588,165,139
イーストスプリング日本中小型株式マザーファンド(評価額)	23,982,722,810
未収入金	19,000,000
未収利息	161
(B) 負債	円 439,746,300
未払収益分配金	171,789,070
未払解約金	86,952,164
未払信託報酬	179,092,936
その他未払費用	1,912,130
(C) 純資産総額(A-B)	円 24,150,141,810
元本	8,589,453,500
次期繰越損益金	15,560,688,310
(D) 受益権総口数	8,589,453,500口
1万口当たり基準価額(C/D)	28,116円

(注) 元本の状況

期首元本額	1,358,245,385円
期中追加設定元本額	9,180,731,043円
期中一部解約元本額	1,949,522,928円

(注) 1口当たり純資産額は2,8116円です。

(注) 上記表中の次期繰越損益金がマイナス表示の場合は、当該金額が投資信託財産の計算に関する規則第55条の6第10号に規定する額(元本の欠損)となります。

○損益の状況 (2023年7月28日～2024年7月29日)

項 目	当 期
(A) 配当等収益	円 △ 37,593
受取利息	6,703
支払利息	△ 44,296
(B) 有価証券売買損益	円 3,459,606,821
売買益	3,955,565,348
売買損	△ 495,958,527
(C) 信託報酬等	円 △ 269,281,817
(D) 当期損益金(A+B+C)	3,190,287,411
(E) 前期繰越損益金	1,000,326,763
(F) 追加信託差損益金	円 11,541,863,206
(配当等相当額)	(8,626,515,692)
(売買損益相当額)	(2,915,347,514)
(G) 計(D+E+F)	円 15,732,477,380
(H) 収益分配金	円 △ 171,789,070
次期繰越損益金(G+H)	円 15,560,688,310
追加信託差損益金	円 11,541,863,206
(配当等相当額)	(8,696,226,451)
(売買損益相当額)	(2,845,636,755)
分配準備積立金	4,018,825,104

(注) 損益の状況の中で(B)有価証券売買損益は期末の評価換えによるものを含みます。

(注) 損益の状況の中で(C)信託報酬等には信託報酬に対する消費税等相当額を含めて表示しています。

(注) 損益の状況の中で(F)追加信託差損益金とあるのは、信託の追加設定の際、追加設定をした価額から元本を差し引いた差額分をいいます。

(注) マザーファンドの信託財産の運用の指図に係る権限の全部又は一部を委託するために要する費用として、信託財産の純資産総額に年10,000分の40以内の率を乗じて得た金額を委託者報酬の中から支弁しています。

(注) 分配金の計算過程
計算期末における費用控除後の配当等収益(410,892,619円)、費用控除後の有価証券売買等損益(2,779,394,792円)、信託約款に規定する収益調整金(11,541,863,206円)および分配準備積立金(1,000,326,763円)より分配対象収益は15,732,477,380円(10,000口当たり18,316円)であり、うち171,789,070円(10,000口当たり200円)を分配金額としております。

○分配金のお知らせ

1 万口当たり分配金 (税込み)	200円
------------------	------

◇分配金のお支払いは決算日から起算して5営業日までに開始いたします。

◇分配金には、課税扱いとなる「普通分配金」と非課税扱いとなる「元本払戻金（特別分配金）」があります。分配落ち後の基準価額が個別元本と同額または上回る場合は全額普通分配金となり、分配落ち後の基準価額が個別元本を下回る場合は、下回る部分の額が元本払戻金（特別分配金）、残りの部分が普通分配金となります。

◇元本払戻金（特別分配金）が発生した場合は、個別元本から元本払戻金（特別分配金）を控除した額がその後の新たな個別元本となります。

◇「自動けいぞく投資コース」をお申込みの場合、分配金は、税金を差引いた後、決算日の基準価額に基づいて自動的に無手数料で再投資いたしました。

○お知らせ

2023年10月27日付で信託報酬率を年10,000分の175から年10,000分の153に引下げる約款変更ならびに、ファンドへの投資機会を継続して提供することが受益者の皆様の利益に資すると判断し、信託期間を無期限に変更する約款変更を行いました。

また、同日付でデリバティブの使用目的を、投資の対象資産を保有した場合と同様の損益を実現する目的ならびに価格変動リスクおよび為替相場の変動リスクを減じる目的に限定することを明確化する約款変更を行いました。なお、かかる変更は、運用の実態に即した記載内容に変更するものであり、実際の運用の基本方針、運用体制等につきましては、一切変更はございません。

イーストスプリング日本中小型株式マザーファンド 運用報告書

第10期（決算日：2024年7月29日）
（計算期間：2023年7月28日～2024年7月29日）

「イーストスプリング日本中小型株式マザーファンド」の第10期の運用状況をご報告申し上げます。

当マザーファンドの仕組みは次の通りです。

運用方針	主としてわが国の金融商品取引所に上場されている（上場予定を含みます。）中小型株に投資を行い、中長期的な信託財産の成長を目指した運用を行います。
主要投資対象	わが国の金融商品取引所に上場されている（上場予定を含みます。）中小型株を主要投資対象とします。
組入制限	<ul style="list-style-type: none">・株式への投資割合には、制限を設けません。・同一銘柄の株式への投資割合は、信託財産の純資産総額の10%以内とします。・外貨建資産への投資は、行いません。

○最近5期の運用実績

決 算 期	基 準	価 額		株 組 入 比 率	純 資 産 額
		騰 落 率	中 率		
6期(2020年7月27日)	円	13,183	△10.3	99.3	百万円 2,455
7期(2021年7月27日)		19,913	51.1	99.6	3,076
8期(2022年7月27日)		21,036	5.6	99.2	2,808
9期(2023年7月27日)		27,007	28.4	99.4	3,047
10期(2024年7月29日)		34,616	28.2	99.0	23,982

(注) 純資産総額の単位未満は切捨てです。

(注) 当ファンドは公表されている適切な指数が存在しないためベンチマークおよび参考指数を設けておりません。

○当期中の基準価額等の推移

年 月 日	基 準	価 額		株 組 入 比 率
		騰 落 率	率	
(期 首) 2023年7月27日	円	27,007	—	99.4
7月末		27,480	1.8	99.5
8月末		27,928	3.4	99.0
9月末		28,689	6.2	97.8
10月末		27,735	2.7	98.4
11月末		28,580	5.8	98.6
12月末		28,677	6.2	99.5
2024年1月末		30,145	11.6	99.0
2月末		30,881	14.3	99.3
3月末		32,768	21.3	98.0
4月末		33,265	23.2	98.0
5月末		34,328	27.1	98.6
6月末		34,238	26.8	98.5
(期 末) 2024年7月29日		34,616	28.2	99.0

(注) 騰落率は期首比です。

基準価額の推移について



基準価額の主な変動要因

当期の基準価額は上昇しました。

(上昇要因)

- ・保有する株式の価格が上昇したこと。

投資環境について

日本株式市場

期初から米国の利下げ開始時期に対する市場の思惑が株価の動向に影響を及ぼし、2023年末までレンジ内で推移しました。2024年の年初には米国株高や円安進行、3月には春闘での賃上げ実現、日銀がマイナス金利解除を発表したことで日本のデフレ脱却期待が高まり株価は上昇基調となりました。

ポートフォリオについて

主として日本の中小型株に投資を行い、中長期的な値上がり益の獲得を目指しました。

当期中の投資行動は、株価の変動による割安度の変化などを考慮して、インターアクションや山九などの株式を新たに組み入れました。一方で、クレディセゾンやマツダなどの株式を全売却しました。

パフォーマンスは、明電舎やめぶきフィナンシャルグループなどの保有がプラスに寄与しました。

ベンチマークとの差異について

当ファンドの運用の基本方針に適合した、公表されている指標が存在しないため、ベンチマークおよび参考指数を設けておりません。

○今後の運用方針について

これまで市場が短期的な視点やテーマに基づいた行動をとってきたことによって、依然として多くの銘柄の株価は企業の本来の価値を正確に反映していないとみており、長期投資家にとっては投資機会を見出すことが可能だと思われます。当ファンドは企業の長期的な収益をけん引するドライバーは何であるかを分析し、さらに現在の株価がどのような懸念を織り込んでいるのかを十分に理解したうえで判断します。市場が短期的な視点で投資行動を起こす中、我々は長期的な観点から企業業績のトレンドに着目していきます。

当ファンドのアプローチでは、テーマに基づく市場の選好を追いかけることは避ける一方、割安とみられる銘柄群の中から、バリュエーションに基づく投資機会を見出します。

多くの日本企業は、これまでの非効率な投資を減らし過剰な負債を削減してきた結果、他の先進国並みの収益性や体力を備え、さらに収益率の水準は肩を並べつつあります。また、業績に連動した経営陣の報酬や社外取締役の増加、報酬委員会の導入など、コーポレートガバナンス改革に対する企業側の姿勢が改善している点も着目しています。このように日本企業の経営陣が株主リターンを意識した適切な判断を下すことが世界で勝ち抜ける高い競争力につながると考えています。

○1万口当たりの費用明細

(2023年7月28日～2024年7月29日)

項 目	当 期		項 目 の 概 要
	金 額	比 率	
(a) 売 買 委 託 手 数 料 (株 式)	円 54 (54)	% 0.178 (0.178)	(a) 売買委託手数料=期中の売買委託手数料÷期中の平均受益権口数 ※売買委託手数料は、有価証券等の売買の際、売買仲介人に支払う手数料
(b) そ の 他 費 用 (そ の 他)	0 (0)	0.000 (0.000)	(b) その他費用=期中のその他費用÷期中の平均受益権口数 金銭信託に係る手数料等
合 計	54	0.178	
期中の平均基準価額は、30,392円です。			

(注) 期中の費用（消費税等のかかるものは消費税等を含む）は、追加・解約により受益権口数に変動があるため、簡便法により算出した結果です。

(注) 各金額は項目ごとに円未満は四捨五入してあります。

(注) 各比率は1万口当たりのそれぞれの費用金額（円未満の端数を含む）を期中の平均基準価額で除して100を乗じたもので、項目ごとに小数第3位未満は四捨五入してあります。

○売買及び取引の状況

(2023年7月28日～2024年7月29日)

株式

		買 付		売 付	
		株 数	金 額	株 数	金 額
国		千株	千円	千株	千円
内	上場	17,421	26,935,510	4,974	9,728,886
		(174)	(-)		

(注) 金額は受渡し代金です。

(注) 単位未満は切捨てです。

(注) ()内は株式分割、予約権行使、合併等による増減分で、上段の数字には含まれておりません。

○株式売買比率

(2023年7月28日～2024年7月29日)

株式売買金額の平均組入株式時価総額に対する割合

項 目	当 期
(a) 期中の株式売買金額	36,664,396千円
(b) 期中の平均組入株式時価総額	14,757,419千円
(c) 売買高比率 (a) / (b)	2.48

(注) (b)は各月末現在の組入株式時価総額の平均です。

(注) 単位未満は切捨てです。

○利害関係人との取引状況等

(2023年7月28日～2024年7月29日)

該当事項はございません。

利害関係人とは、投資信託及び投資法人に関する法律第11条第1項に規定される利害関係人です。

○組入資産の明細

(2024年7月29日現在)

国内株式

銘柄	期首(前期末)	当 期 末	
	株 数	株 数	評 価 額
	千株	千株	千円
水産・農林業 (-%)			
ニッスイ	32.5	—	—
建設業 (7.2%)			
高松コンストラクショングループ	28.5	140.9	441,017
オリエンタル白石	258.2	1,794.5	619,102
大成建設	13.5	100.8	644,414
食料品 (-%)			
コカ・コーラ ボトラーズジャパンホールデ	36.7	—	—
繊維製品 (3.0%)			
帝人	50.7	324.2	469,927
マツオカコーポレーション	21.5	150.1	248,415
化学 (19.5%)			
住友化学	109.3	1,117.5	421,856
東ソー	10	163.4	334,643
エア・ウォーター	—	260	566,280
ステラ ケミファ	25.1	146.8	607,018
大日精化工業	12	125.5	397,207
カネカ	16.2	117.1	498,143
KHネオケム	—	146.4	326,472
UBE	10.9	—	—
日本化薬	—	450.5	569,432
大日本塗料	33.3	214.5	260,832
D I C	31.1	212.3	656,856
医薬品 (-%)			
参天製薬	14.4	—	—
ゴム製品 (1.1%)			
住友ゴム工業	51.4	—	—
ニッタ	20.8	65.8	260,897
非鉄金属 (-%)			
古河電気工業	25.3	—	—
金属製品 (1.9%)			
SUMCO	14	176.9	442,869
日本発條	65.4	—	—
機械 (11.5%)			
日本製鋼所	10.2	11.2	47,544

銘柄	期首(前期末)	当 期 末	
	株 数	株 数	評 価 額
	千株	千株	千円
タクマ	—	313.4	544,062
ナブテスコ	—	229.5	654,075
サトーホールディングス	26.1	252	533,988
住友重機械工業	21.1	88.5	355,062
椿本チエイン	9.5	—	—
スター精密	—	285.5	599,550
電気機器 (15.1%)			
ブラザー工業	31.9	135.9	417,620
明電舎	42.4	—	—
沖電気工業	93.5	615.6	617,446
エレコム	44.5	383.9	626,524
スタンレー電気	—	230	655,155
小糸製作所	—	294.4	657,542
リコー	65.9	431.8	602,576
輸送用機器 (2.9%)			
三菱自動車工業	60.8	704.3	311,582
エフテック	28.1	—	—
NOK	25.4	27.4	59,321
マツダ	24.4	—	—
テイ・エス テック	22	162.2	321,074
精密機器 (2.3%)			
ナカニシ	—	95	248,615
インターアクション	—	214.6	295,718
その他製品 (0.2%)			
フジシールインターナショナル	46.5	22.7	53,140
リンテック	35.8	—	—
電気・ガス業 (2.4%)			
メタウォーター	43.4	307.8	565,120
陸運業 (8.6%)			
ハマキョウレックス	20.2	133.3	617,179
名古屋鉄道	—	216.8	394,576
ヤマトホールディングス	—	215.7	390,632
山九	—	120.9	649,595
情報・通信業 (1.8%)			
ファイバーゲート	—	348.1	419,460

銘柄	期首(前期末)	当 期 末	
	株 数	株 数	評 価 額
	千株	千株	千円
小売業 (2.6%)			
ドトール・日レスホールディングス	8.3	—	—
良品計画	42.3	—	—
イズミ	18.8	177.6	628,704
サンドラッグ	6.2	—	—
銀行業 (4.9%)			
めぶきフィナンシャルグループ	151.8	994.5	603,462
コンコルディア・フィナンシャルグループ	154.4	409.9	377,067
おきなわフィナンシャルグループ	—	60.9	172,834
千葉銀行	49.4	—	—
その他金融業 (1.9%)			
クレディセゾン	30.1	—	—
東京センチュリー	15.3	288.9	460,362
不動産業 (7.5%)			
大東建託	6.1	34.1	591,805

銘柄	期首(前期末)	当 期 末		
	株 数	株 数	評 価 額	
	千株	千株	千円	
飯田グループホールディングス	25.5	214.8	478,467	
イオンモール	33.1	206.1	416,115	
カチタス	—	151.1	285,427	
サービス業 (5.6%)				
総合警備保障	43.7	—	—	
H. U. グループホールディングス	—	235.4	620,749	
アサンテ	32.1	155.9	278,437	
ソラスト	—	203.1	103,174	
ダイセキ	—	90.6	325,707	
合 計	株数・金額	2,149	14,770	23,744,864
	銘柄数<比率>	53	54	<99.0%>

(注) 銘柄欄の()内は、国内株式の評価総額に対する各業種の比率です。

(注) 合計欄の< >内は、純資産総額に対する評価額の比率です。

(注) 評価額の単位未満は切捨てです。

(注) 一印は組入れなしです。

(注) 業種区分は、東証33業種分類に基づいています。

○投資信託財産の構成

(2024年7月29日現在)

項 目	当 期	末
	評 価 額	比 率
	千円	%
株式	23,744,864	97.8
コール・ローン等、その他	532,855	2.2
投資信託財産総額	24,277,719	100.0

(注) 評価額の単位未満は切捨てです。

○資産、負債、元本及び基準価額の状況 (2024年7月29日現在)

項 目	当 期 末	円
(A) 資産	24,277,719,612	
コール・ローン等	185,763,896	
株式(評価額)	23,744,864,680	
未収入金	294,591,736	
未収配当金	52,499,250	
未収利息	50	
(B) 負債	295,193,861	
未払金	276,193,861	
未払解約金	19,000,000	
(C) 純資産総額(A-B)	23,982,525,751	
元本	6,928,218,977	
次期繰越損益金	17,054,306,774	
(D) 受益権総口数	6,928,218,977口	
1万口当たり基準価額(C/D)	34,616円	

(注) 元本の状況

期首元本額	1,128,379,576円
期中追加設定元本額	6,493,617,540円
期中一部解約元本額	693,778,139円
当期末における元本の内訳	
イーストスプリング・ジャパン中小型厳選バリュー株ファンド	6,928,218,977円

(注) 1口当たり純資産額は3,4616円です。

(注) 上記表中の次期繰越損益金がマイナス表示の場合は、当該金額が投資信託財産の計算に関する規則第55条の6第10号に規定する額(元本の欠損)となります。

○損益の状況 (2023年7月28日～2024年7月29日)

項 目	当 期	円
(A) 配当等収益	445,613,710	
受取配当金	445,792,500	
受取利息	9,399	
その他収益金	5,187	
支払利息	△ 193,376	
(B) 有価証券売買損益	3,508,497,852	
売買益	3,661,179,908	
売買損	△ 152,682,056	
(C) 保管費用等	△ 11,880	
(D) 当期損益金(A+B+C)	3,954,099,682	
(E) 前期繰越損益金	1,919,046,493	
(F) 追加信託差損益金	12,745,382,460	
(G) 解約差損益金	△ 1,564,221,861	
(H) 計(D+E+F+G)	17,054,306,774	
次期繰越損益金(H)	17,054,306,774	

(注) 損益の状況の中で(B)有価証券売買損益は期末の評価換えによるものを含みます。

(注) 損益の状況の中で(F)追加信託差損益金とあるのは、信託の追加設定の際、追加設定をした価額から元本を差し引いた差額分をいいます。

(注) 損益の状況の中で(G)解約差損益金とあるのは、中途解約の際、元本から解約価額を差し引いた差額分をいいます。

○お知らせ

2023年10月27日付で運用の権限委託先の報酬の率を引き下げするため約款変更を行いました。また、同日付でデリバティブの使用目的を、投資の対象資産を保有した場合と同様の損益を実現する目的ならびに価格変動リスクおよび為替相場の変動リスクを減じる目的に限定することを明確化する約款変更を行いました。なお、かかる変更は、運用の実態に即した記載内容に変更するものであり、実際の運用の基本方針、運用体制等につきましては、一切変更はございません。